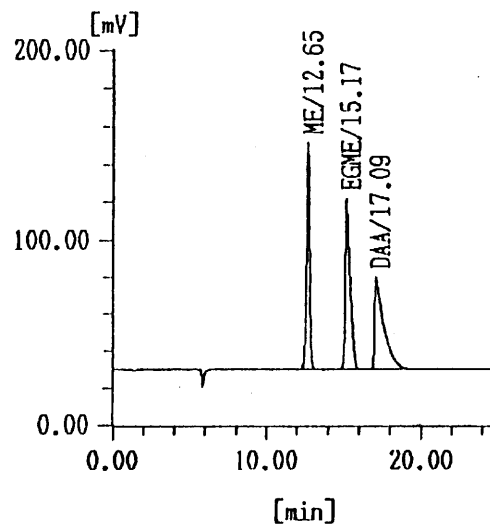
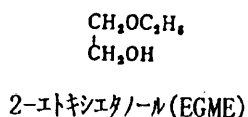
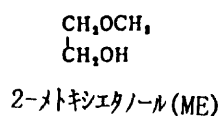
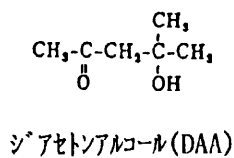


## 有機溶剤の分離

各種溶剤として用いられているジアセトンアルコール（4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン）、2-メトキシエタノール（2-ヒドロキシエチルメチルエーテル、メチルセロソルブ（商））、2-エトキシエタノール（2-ヒドロキシジエチルエーテル、エチルセロソルブ（商））は、身近にある様々な合成化学物質の溶剤として、広範囲に利用されています。

ジアセトンアルコールは高沸点であり（沸点168℃）、粘性率低下の効果に優れているため、印刷インキ、合成樹脂塗料、油脂や着色剤の溶剤として用いられており、2-メトキシエタノール（沸点124.6℃）は、ラッカー、ワニス、エナメルなどの塗料溶剤及びシンナーとして広く用いられ、2-エトキシエタノール（沸点135.6℃）は、ニトロセルロースラッカー、農薬成分、自動車エンジン洗浄剤、印刷インキキャリアー、ブレーキ油等に用いられています。

ここでは、イオン排除クロマトグラフィーにより、示差屈折計を検出器として用いた分離を下図のクロマトグラムに示します。



## 測定条件

カラム: TSK gel SCX (H<sup>+</sup>)  
(7.8 mm ID × 30 cm)

溶離液: 2 mM H<sub>3</sub>PO<sub>4</sub>

流速: 1.0 ml/min

温度: 40℃

注入量: 20 μl

検出: 示差屈折計 (RI-8022)

\* 試料の調製: 標準試料は脱イオン水にて調製致しました (0.5% v/v)。